



「振り返りの時間」から

子ども議会終了後、子ども議員と学生サポーターに感想文を書いてもらいました。

子ども議会の活動や学生サポーターの研修では、毎回自分のやってきたことを“振り返りの時間”という形で整理して作文してもらってきました。これはその最後のものです。

作成にあたり、子どもの書いた文章を尊重しておりますので、誤字脱字以外は仮名遣いを含めてほぼ原文のままです。

松永まどかさん 小6

私は、これから子ども議員の活動をやってみての感想を書きたいと思います。

子ども議員の活動では、毎回課題が出ました。課題は量が多いだけではなく、考える時間も必要でした。学校で習うような「決まった答え」があるわけではなかったからです。

その度に考えをまとめるのに、とても苦労しました。

それでも、苦労した分、少しずつ深く考えられるようになりました。同時に、私たちが住む八王子市への関心が高まりました。これから私は中学校に進んでいきますが、子ども議員を通じて培った考える力、そして、地元への関心を生かしていきたいと思います。

中川ねおさん 小6「CHANGE」

「子ども議員ってどんなことをするんだろう?」「なんだかよくわからないけど面白そう!」

最初はそのような軽い気持ちで応募したはちおうじ子ども議員でした。ところが、8月31日に行われた子ども議会では、私たちの委員会の提案をきっかけに「こども政策課」を「子どものしあわせ課」に変えてしまったのです!八王子市は「子どもの目線」を大切にしながら、施策に取り込んでいくことを約束してくれました。

気軽に参加した子ども議員で、まるでテレビドラマ『CHANGE』のなかで木村拓哉さんが演じた首相のように、政治を変えてしまい、驚きましたが感激してうれしくなりました。

これをきっかけに、市政や更に国会にも興味が広がりました。そして、これからの日本がもっといい国になってほしいと思いました。

源原葉月さん 小6「はちおうじ子ども議会」

私が子ども議員になって、一番楽しかったのは、今までの活動が全部楽しいです。なぜかは、子ども議員になって、友達がいっぱい出来たので、毎回の学習会が楽しかったからです。

7月30、31日の子ども議会の合宿で、グループ分けがありまして、私は「緑化」のグループに入りました。そこで、同じ学年のゆうかちゃんと友達になって、他の中学生の女の子3人と友達になりました。とちゅうから6年生の子が一人来て、秘書はツナマヨさんと、なんか仕事できてるらしい梅さんです。その8人で活動するのは楽しかったです。

これからは、自分達の言ったことを確認して、八王子の変化を見ていきたいです。



澤井杏奈さん 小6 「あの合宿のときで」

7月30、31日に合宿をしました。

議員の皆と泊まれることが、何よりも嬉しかったことは、今でも覚えています。その時はまだ、楽しいことしか考えていませんでした。実際当日になると、長時間の学習がメインだったので、私は少しガッカリしてしまいました。そう、考えが甘かったんです。

でも、こうやって八王子のことを考えていると、本当の議員さんもきつこうやって頑張ってきたんだなと感じてきて来ました。そして、大人顔負けの提案をしてやろう、本当の議員さん並みの提案をしてやろうと思いました。最後までやってこれたのはそのおかげだと思います。これからもずっとこの活動をしていたいと思います。もうすぐ終わってしまうのが少し寂しいです。

松本美利亜さん 中2 「子ども議員活動で得られたこと」

私は子ども議員募集の手紙を母からもらいました。私は小学生の頃からずっと、八王子のことをもっと知ってよりよいまちに変えていきたいと思っていました。この機会は絶対逃さないと思い、一生懸命作文を書いて応募しました。子ども議員に選ばれた時は本当にうれしかったです。なかなか予定がつかず出られない時もありましたが、子ども議員として活動できる日が本当に楽しみでした。たくさんの友達もでき、優しくしっかり私達の意見を聞いてくれる学生サポーターの方々と一緒に過ごせた合宿。副議長として、子ども議員として考えをしっかりと述べられた本会議。どれも普通じゃできないとっても貴重な体験でした。7か月間という短い期間でしたが、いち子ども議員として活動できたことは一生忘れられない思い出で私の宝物です。

松村美貴さん 中2 「子ども議員をやって」

私は今まであまり「責任」という仕事をやったことがありませんでした。

でも、この7か月間の「子ども議員」という小・中学生の代表で「責任を持って意見を発していく立場でやってきて、多くのことを学び、貴重な体験を経験できることができました。そして大きく成長した約7か月間だったと思います。

また、子ども議員は普段ではできない、他の学校の人達との交流の場でもありました。自分の学校と相手の学校の長所・短所を言い合ったりして、いろんなやり方を学んだり、仲を深め合ったりもしました。

私はこれから、子ども議員で学んだことを十分に生かして様々な分野で役立てていこうと思っています。

とても学ぶことが多く、楽しかった7か月間でした。

木村友哉さん 小5 「子ども議員とても楽しかった」

ぼくは、子ども議員をやって、とてもいい経験になったと思います。子ども議員としての活動が楽しい思い出になりました。

その活動の中で楽しかったのが、本議会と合宿です。

合宿では、皆でまとまって楽しくできました。発表する時の材料を、みんなで協力して作れたのが一番よかったと思います。

本議会では、ちょっと緊張したけれど、市長さんの話も聞けてとてもよかったと思います。自分達の提案を市長さんがほめてくれたのがとてもうれしかったです。

このような活動が来年あればまた参加してみたいです。11月の報告会も、感想文をみんなで読みあったり、簡単なレクをしたり、みんなの雰囲気盛り上がるような報告会にしたいです。



浅井一樹さん 小6

ぼくは子ども議員というものを知った時、なりたい、なってみたいと思いませんでした。でも母がぼくに子ども議員になることをすすめたので、ぼくは地球温暖化のことを作文に書き提出しました。数日後、市役所から一つの封筒がとどいた時、それまで「子ども議員になったらいそがしそうだな、めんどくさそうだな」と考えていたのが、「どうなったんだろう？ 子ども議員に選ばれたのかな？」というふうになって、子ども議員に対する思いが変わりました。そして封筒の中の手紙を読んで、父と母とぼくで大喜びをしました。

子ども議員になって、いろんな施設を見学し、合宿で新しい友達ができ、緑の学校委員会として市長さんに自分たちで決めたことを提案したりなど、様々なことをしました。仲間といろんな活動ができ、とても楽しかったです。子ども議員になって正解でした。「緑の学校計画」が実現してほしいです。

林龍弥さん 小6「大変な役目だった」

ぼくは、ボーイスカウト推薦され、子ども議員に選ばれました。議員と名がつくとぼくから見る大人の偉い政治家の人達で私みたいな子どもたちとは遠い大人の世界とっていました。

しかし子ども議員になり、結団式の時はとても緊張しました。これからなにがはじまるのだろうという不安もありました。学習会で学生サポーターの人達と勉強会をし、施設見学で八王子にもこんなところがあるのか、このような場所でゴミ処理をしているのかなど、学校生活ではいけないところまで見学できたことはよかったです。合宿では途中抜け出したこともありましたが、夕やけ小やけは5年のときに移動教室できた経験もあったので不安はなく、学校の友達でなく多くの仲間の人達と交流ができ思い出になりました。

本会議の日は議場に入った時緊張した。代表質問はみんなで考え、八王子のまちをよくし、発展させるかを質問しました。50万の市民がいる八王子を市議会議員さんに頑張ってよくしてもらいたいです。

粟澤美穂子さん 中1「私の思い」

3月26日、私のもとへ子ども議員募集のお知らせがきた。まあ楽しそうだしやってみるか！と、何も考えずに軽い気持ちで応募しました。

第1回、2回学習会で、みんなで話したり八王子のことを知っていくと、私の中で、私たち子どもだけでなく、幼児からお年寄り幅広い地域の人たちが、みんなで遊べる、集まれる施設・場所がほしいと思うようになりました。

第3回学習会(合宿)の時、公園課の方々に話を聞き、私の思いは強くなりました。委員会も「みんなの遊び場委員会」に入り、みんなで思っていたことを話し合った結果、中学校を貸してもらおう！ということになりました。

議会当日、答えは私にとって物足りなかったけど、私たちの考えを聞いてくださってよかったです。最初は軽い気持ちでしたが、今は子ども議員になれて本当によかったと思います。

戸谷梓紗さん 中1「貴重な体験をありがとう」

私は環境のことを話し合いたくて子ども議員に応募しました。

はじめガチガチに緊張していましたが、学生サポーターやみんなが優しく、打ち解けられてホッとしました。

学習会、施設見学、合宿でいろいろな分野で仕事をしている方の話を聞いたのはとても楽しかったです。特に合宿で、市



の職員の方に環境について質問した時や委員会で思う存分話し合いをした時はとてもワクワクしました。二日目は参加できず残念でした。

本会議では、本物の議場、本格的な会議にドキドキしました。「子どものしあわせ課」が実現した時には、ビックリするやらのうれしいやらでした。

7ヶ月間、こんな貴重な経験ができ、お世話になった皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

山中美幸さん 小5「楽しかった合宿」

私は、今までの子ども議会の活動の中で、いろいろ楽しかったけれど、その中で7月30日、31日の合宿が楽しかったです。

2日間の合宿の中で、どこが特に楽しかったかというと、グループに分かれて本会議に向けて提言を考えているときです。

理由は、私が入ったエコバック推進委員会は、私以外は中学生のお兄さんだったので、ふだんは5年生の意見しか聞けないけれど、中学生の意見も聞けたし、しかも、同じテーマで聞けるきちょうな体験で楽しかったです。

もし、またこのようなことがあったら、また参加してみたいです。

幼稚園のときの同級生に合ってびっくりしました。しかも3クラスあって、私を入れて3人で、全クラスそろいました。

武田未佳さん 小6「子ども議員の感想」

私は、環境委員として、約7か月間子ども議会に参加しました。

7月の合宿では、地球温暖化問題についての講義がありました。そこで、今の地球はとても大変な状況にあることを学びました。

この状況を解決するために、私達に何かできる事がないかと考え、本会議では身近なところから緑を増やす試みを提案しました。

6人の子ども議員と2人の学生サポーターのグループで意見を出し合いましたが、それぞれの意見は違い、みんなが納得する案にする事は非常に大変な作業でした。

この経験から、実際の市議会議員の方々が市民の意見をまとめ、全員が納得する答えを出すことは考えられない程の難しいことだと感じました。

最後に、任期を過ぎた後も地球への優しさを常に考え、生活していこうと思います。

千葉麻由さん 小5「楽しかった議員活動」

わたしは議員活動がとても楽しかったです。結団式や学習会でいろんなところに見学に行ったり、合宿したり、子ども議会をしたりして、楽しかったです。特に合宿が楽しかったです。八王子市の人と話してくださったり、それについてグループで話し合いをしました。私は八王子の子どもの遊び場について話し合いました。

今子どもの遊び場が少ないということから、子どもの遊び場を増やそうと考えました。例えば、公園でボールを使ってもいいようにするということやいろいろなことを話し合いました。それからみんなといっしょに遊んだり、寝たり、いっしょにごはんを食べたりしてとても楽しかったです。

八王子のことをたくさん知ることができて本当によかったです。子ども議員になれてよかったなと思いました。



近藤裕貴さん 小5「子ども議会で心に残ったこと」

ぼくが子ども議員になって一番心に残ったことは、市長さんに合宿で決めたアイデアを伝えるために、会議場で発表した時のことです。

会議場で発表する前に学生サポーターの人から「きんちょうして言うことを忘れてしまうから、自分が言うことは全部通告書に書き込んだきな」と言われたけど、そんなことないよ、とばかばかしく思っていました。

けれど、実際に発表する時になると、ほとんど全部忘れてしまい、学生サポーターの言うことを聞いておいてよかったな、と今では思っています。

とても八王子のことがわかったので、また来年も議員をやり、他の人の意見も聞きながら、積極的に自分の意見を言い、いろいろなことを話したいです。

吉澤龍秀さん 小6

ぼくは子ども議員の活動の中で楽しかったことは3つあります。

一つ目は施設見学です。なぜなら、戸吹清掃工場に行って、なかなか見れない工場内や八王子市のゴミのことが聞けて楽しかったです。二つ目は夕やけ小やけふれあいの里で行った合宿です。実際に市役所の方からお話をしてくださったのでわかりやすかったです。また、話し合いの時にいろいろの意見が出てそれを討論するのも楽しかったです。三つ目は子ども議会です。なぜなら発言する時にきんちょうしたけれど、自分達の意見を市長さんなどに伝えることができたからです。また、おどろいたのは発言で、「子どものしあわせ課」をつくるという提案が本当に実現したことです。

子ども議員の体験は、いろいろなことに役立ってすごく楽しかったです。また来年同じような機会があったら、また参加してみたいです。

大塩悠さん 小5

ぼくが子ども議員になって一番勉強になったのは、市の人たちがこの八王子が平和でよりよいまちになるよう努力してくださっていることです。僕自身子ども議員として、八王子を舞台にいろいろな活動にとりくんできました。中でも8月31日に行われた「子ども議会」は4、5年に1度の活動だそうで、とてもよい経験になったと思います。

議会中、ぼくは発表することができませんでしたが、黒須市長や他の市の役所の方々、そして子ども議員のみんなと、市役所本会議場に立てたことをうれしく思います。

ぼくもこの八王子市で育った市民の一人として、子ども議員で活動したことをわすれず、市の役に立つ仕事をしたいと思います。

井上明香里さん 小6「楽しかった7か月」

封筒を開けるとときドキドキしました。なれているのか、なれていないのか？中に入っていた手紙を見てうれしくなりました。

一番心配だったのは友達。ほかの学校ばかりでした。でも学生サポーターのおかげでたくさん友達がくれました。

合宿は修学旅行みたいで楽しかったです。発言通告書を書くとき、学生サポーターを中心にして、委員会のみんなが一つになって完璧な発言通告書ができ、うれしかったです。

議会では、本物の市議会議員になれた気がしました。一番最初できんちょうしたけれど完璧にできました。ほかの委員会



の発表もすごかったし、なるほどなぁーと思う発表もありました。

7か月という短い間だったけれど、友達もできたし、素晴らしい経験ができました。

小原実さん 中1「八王子市民の自覚」

「結団式」では会場に市長を始め市の関係者が大勢揃っていたので緊張しました。

「学習会」では、ぼくは八王子市民になったばかりで知らないことばかりでしたが、クイズ形式になっていて理解が深まりました。

「施設見学」では、小田野中央公園を視察しながら完成までの話を聞いて、みんなの夢や希望を実現化した人たちのパワーのすごさを感じました。また、戸吹清掃工場で説明を聞いて、ゴミ分別の大切さを実感しました。

「合宿」では、夜まで話し合った結果、とても貴重な意見がまとまりよかったです。

「本会議」では、初めて本会議場に入って、しかも市長の前に立って発表したのだからかなり緊張しましたが、子どもたちの提言を取り入れることで10年後の八王子が住みやすくなれば、ぼくたちの7か月の活動が有意義であったと言えます。

野村啓介さん 中3「子ども議会の感想」

子ども議員をやらないか？といわれた時、僕はすぐに「やります」と答えました。その時は子ども議会に対する興味だけで引き受けてしまいましたが、自分が最年長だと知った時には不安でいっぱいになりました。

5月10日の結団式は緊張しながら参加しました。子ども議会の活動が始まってからは、回を重ねるごとにみんなと仲良くなり活動するのが楽しくなりました。僕が一番印象に残っていることは合宿でみんなと話し合ったことです。

八王子市の知らなかったことについて知ることができてよかったです。でも、最後の議会に出れなかったことがとても残念です。

短い間でしたが、僕にかかわってくれた皆様、心より感謝しています。ありがとうございました。

江上理紗さん 小5「新しいお友達と...」

5月の初めごろに1通の手紙が届きました。「はちおうじ子ども議会決定のお知らせ」と書いてあって、ありえーんと思ってしまいました。5月10日に結団式がありました。すごドキドキしました。なんとあの黒須市長さんや議員さんが来て、私たちの質問に答えてくださるからです。さらに、知らない子がいっぱいいました。そして新しい友達ができました。

7月30・31日の合宿では委員会ごとに話し合いました。私は自分の思うことをほとんど言いました。委員会は「みんなの遊び場委員会」で、提案したことは市民センターと中学校の開放について言いました。ほかにもいろんなことがありました。どれもいい経験になりました。またこのようなのがあったらいいなと思いました。

二木佑香さん 小6「子ども議会をして」

私は、この子ども議員を体験して、学んだこと、感じたこと、思ったことが大きく分けて2つあります。

1つは、八王子市や議会についてよく知るよい機会になったことです。八王子市のことは学校で少し勉強しましたが、私がかんがっていた緑地面積はわからず、今回よく知ることができました。また、市議会のことはまったく知らず、今回話しの流れ



や席の位置などたくさん学ぶことができました。

2つ目は、私が気になっていた八王子市の緑化についていろいろなことを教えていただき、知ることができたということです。主に八王子の緑地面積、市街地の緑化などです。

このように私は、この体験を通じて八王子市のことについてよく知ることができ、いっそう興味が高まりました。

大澤紗英さん 小5「子ども議員になって…」

私は子ども議員になって、八王子市のことをよく知りました。小田野中央公園では、かつてゴミ捨て場にされていた土地を地域の人たちできれいにし、近くの小学校・中学校から遊具のデザインを集め、その公園が今年の3月にできたそうです。公園にはたくさんの木が植えてありました。その木は地域の人たちで苗を植えたそうです。そこにはしばふの小さな丘がありました。それも地域の人たちがしばふをしきつめてできたものでした。

私たちの住んでいる八王子市をもっと住みよくするために考えるいい機会になりました。この経験を生かしてこれからの八王子市について考えてみようと思いました。

佐藤新さん 小5「議員になったよ。」

ぼくは議員になってわかったこと、よかったこと、つらかったことがあります。

わかったことは、市長さんがどんな方なのか初めて知りました。それから、これまでは議員さんの存在は知っていたけど、どんな仕事をしているのか知りませんでしたがとてもよくわかりました。

よかったことは、特に市長さんにサインをしていただいたこと、ぼくの提案に賛成していただいたことです。ぼくはとてもうれしかったです。それから違う学校の人と友達になれたこともうれしくて、合宿では家族以外の人と泊まったり行動したりするのはめずらしくて、ドキドキして楽しかったです。

ただひとつ、議会の間ずっとすわっていることがとてもつらかったです。

ぼくはこの7か月の間、とても楽しくいい経験をしました。

廣田優作さん 小5「子ども議会をやってみて」

ぼくは子ども議員の活動をしてみて、八王子の施設や名所などの事をたくさん知りました。本会議ではたくさんの意見が出ている中で「子どものしあわせ課」のアイデアでいじめなどで困っている子どもの居場所を作るというのがすごいなと思いました。

ほかに合宿や施設見学で子ども議員の人とも仲良くなれたり、普段入れない清掃工場の中にも入れ、清掃工場の仕組みやゴミしよりのしかたを知って勉強になりました。

この子ども議会をきっかけにこれからも、八王子の未来について考えていきたいなと思いました。

山口希望さん 小6「子ども議会」

ぼくは子ども議会などを通していろいろな成果をあげることができたと思います。

子ども議会の一か月前、合宿ではグループを決め、そのグループごとに話し合いをしました。話し合いの時は学生サポータ



ーが引っ張ってくれたので話が進みましたが、止まってしまったこともありとても大変でした。話し合いの合間にはほかの話などもして盛り上がりました。

子ども議会では緊張しながらも市長らに向けて自分達の考えを発言するとかできたのでよかったと思います。

子ども議員での成果は、ぼくの中では主に2つあります。1つ目は同じ意見を持っている人もいますと思いますが、子どものしあわせ課の実現です。ほかの案もたくさん実現すると良いです。2つ目はよい交流の場になったことです。近くに住んでいる人とは仲良くなりました。

新井遠野さん 小5「子ども議員」

ぼくは子ども議員になったのしかったことは社会科見学・合宿です。社会科見学はチームでいろいろなところを回って見学しました。そしてすごいよかったことは道の駅でアイスを食べたのがおいしかったです。

合宿が一番たのしかったです。なんでかという勉強もしたけどたのしいゲームをいっぱいやったからです。あと寝る時2時くらいまでふとんの中でこっそり近藤さんとあそんでいたこともたのしかったです。本当に子ども議員になって本当によかったです。

新井水奈美さん 中1「子ども議員になって」

私は子ども議員になって友達がたくさん増えて楽しかったです。

合宿では夜遅くまで起きてみんなで話したりしたのが思い出になりました。勉強会では、自分のやりたいことに合わせてグループを作りました。私はみんなの遊び場委員会に入りました。そこでは子どもの遊ぶ場所などを話し合いました。

そして子ども議会本番の日、リハーサルをしてから本番を迎えました。市長さんなど偉い人がたくさんきてきんちょうしたけど大きな失敗もなく終わりました。

私は子ども議員になり貴重な体験ができたのでとてもよかったです。

小林千聖さん 小6「子ども議員になってよかったこと」

私は子ども議員になって本当によかったと思っています。最初は友達もあまりなくて緊張してしまいました。本物の議員さんに話を聞いて、普段議員さんは何をしているのかを知らなかったのが、議員さんはがんばっているんだな〜と思いました。学習会では八王子のことを勉強して、八王子はいろんなことをしているんだな〜と思いました。施設見学では、八王子の人が集まって作った公園を見ました。人の手で作ったとは思えないくらいすごく楽しい公園でした。

合宿では5時間の学習をしました。少し疲れたけどたのしかったです。

本会議では、市長に提案して少し緊張したけど、最終的には友達もたくさんできていい経験になったと思います。

長井慶成さん 小5「八王子の観光名所、高尾山」

ぼくは子ども議員になって「施設見学」などをし、八王子のことを知りました。子ども議員で印象に残った「合宿」と「本会議」の感想を書きます。

「合宿」では、観光委員会になり、観光課の方に話を聞き、高尾山についてアピールすることにし、市長にどうしたらいい答えを出してもらえるかを考えました。「本会議」では、合宿で考えた質問を市長にしました。アピール方法は高尾山の出でくる



はちおうじ子ども議会

ドラマ(映画)、高尾山の広告などでアピールする方法です。市長からいい答えを出してもらいました。
この活動をして、八王子の観光名所高尾山をみんなにアピールし、世界遺産にしたいです。

山崎真波さん 中2「子ども議員になって」

まず最初に、私は子ども議員の活動をサポートしてくださった方々に心からお礼を言いたいです。ありがとうございました。

私は、結団式で市長と握手を交わし、子ども議員としてスタートを切りました。それから第2回、3回と学習会などに参加し、合宿に行っている話しているうちに、「議長」という大役までやりたいと思うほど気持ちが高まっていました。

当日、一番高い席に座り、議会の進行をしました。私が思ったことは、市長さんや教育長さんが私たちの意見に対し真剣に答えてくれていて、ほんとうにやってきた甲斐があったということです。発言する議員の人も堂々としてとても立派でした。私にとって、子ども議員になったことはとても貴重な経験になりました。これからも、私は子ども議会で培ったことや子ども議員として議会に参加できたことを誇りに思っていきたいです。

佐々木茜さん 小5「子ども議員を通して」

5月10日、私の子ども議員としての活動が始まりました。名前は「子ども議員」でも仕事はプロの方と同じでとてもやりごたえがありました。

第2回事前学習会では、小田野中央公園、戸吹清掃工場、道の駅滝山をまわり、とてもくわしいお話を聞くことができうれしかったです。

第3回事前学習会では、とまりがけで勉強し、本会議へ向けて大きく前進しました。

そして、本会議ではメンバーと力を合わせて市長への質問を成功させました。市長が私たちの意見に耳をかたむけてくださってとてもうれしかったです。この体験の全てが貴重なことで、そして、大切な思い出です。

この子ども議会を通して、いろいろな人に出会い、貴重な体験をさせていただき、とてもうれしかったです。またやってみたいです。

西野実樹さん 小6「子ども議員を振り返って」

私は今、子ども議員をやって本当によかったと思っています。施設見学では、その関係者の方から貴重な話をたくさん聞きました。合宿では、市役所の方が私たちの質問に対してわかりやすくたくさん答えてくれました。こんなことは普通ではなかなか体験できないことです。でも大変なこともありました。話し合っている時、考えが浮ばず行き詰まってしまって「疲れたー」とか思う時もありました。

いろんなことがあったけど、本会議の時に市長さんが私たちの提案した「子どものしあわせ課」をつくれます！とってくれたときは今までの大変なことなど忘れるぐらいうれしかったです。

私は子ども議員をやって、友達がたくさんできました。自分から進んで意見を言うようにもなりました。八王子の子どもの代表として、とてもいい7か月間が過ごせてよかったです。



西野広樹さん 中2「はちおうじ子ども議員を終えて」

5月、子ども議会結団式が行われました。ぼくは42名の代表として決意の言葉を申しました。緊張の中、決意を申したのは昨日のこのように覚えています。

合宿を含め、3回の事前学習会の中で、ほんとうにたくさんのことを学びました。「自分の故郷」八王子を見つめ直すよい機会でした。また、いろいろな学校の人と知り合うことができ、友達の輪が広がりました。

夏休みの最後の日、8月31日に行われた本会議では、「みんなの遊び場委員会」の発言者として、市長と教育長に提案をしました。やはり緊張したのですが、4か月近くの議論の成果を見せることができたと思います。

今日で子ども議員ではなくなりますが、今後も経験したことを活かして頑張りたいです。来年も子ども議会をぜひ開いてほしいです。今までありがとうございました。

小嶋千穂さん 中2「子ども議員をやってみて」

私が子ども議員をやってみて楽しかったことは、みんなで合宿に行った時、市役所で働いている人から八王子についての話を聞いたことです。私は観光について話を聞きました。新宿などに行って八王子のパンフレットを配ったりして、八王子のことをPRしに行くんだ！とビックリしました。あと、私は道の駅八王子滝山をなぜあの場所につくったんですかと質問しました。ずっと疑問に思っていたことを聞いてよかったです。

私が反省しなくてはいけないことは提出期限を守ることです。私は何度も何度も提出期限を守れないで、宿題などを出していました。なので反省をしてこれからはそのようなことがないように頑張っていきたいです。

石綿永吉さん 小5

僕が子ども議員をやってうれしかったり楽しかったことはみんなといろいろなことを考えたりしたことです。特に合宿の「夕やけ小やけふれあいの里」で一泊二日していろいろ計画を出したりみんなで遊んだりしたことでした。ほかに見てすごいと思ったのは八王子を見学した「施設見学」です。特に戸吹清掃工場です。市内だけでもあんなゴミが集まるのはすごいと思いました。だからゴミをリサイクルしたほうがいいと思いました。そして一番きんちょうしたのが「本会議」で、5,6人ぐらいの新聞記者やカメラマンが来ていたからです。でもめったに出来ないことが体験できたので子ども議員になってよかったです。

秋場豊一さん 中2

今回子ども議員をやって、自分が住んでいる八王子にどんなことを提案すればもっと良くなるのかを考えて文章にすることはとても大変なことでした。しかし、今までこんなことをすればいいのに、と日常的に思っていたことを考えていくと、とても深く意味があるものだと思います。

僕が今回考えた「エコバッグ」は市民全員が使えば問題はないのですが、そんなことは不可能です。そこでエコバッグを持つことによって持っていない人とどんな違いをつければエコバッグを持ってくれる人が増えるのか。考え方を変えて、エコバッグを身近に感じてもらうためにと考えると文章にすることが出来ました。

僕は今回子ども議員をやって2つわかったことがあります。一つ目は議員という仕事が大変だということ、2つ目は、話が詰まったとき、考え方を変えることの大切さ。この2つがわかり子ども議員になっていい経験をする事が出来てよかったです。



鍛治美佑さん 小6

約7か月間、子ども議員としての活動を通じて環境や福祉のこと、市役所で働いている皆さんが市民のためにどのようなお仕事をやっているかなど、たくさんのことを学ぶことが出来ました。

様々な活動の中で私が一番印象に残っているのは「子ども議員本会議」です。

私は地球温暖化防止をテーマにした「緑の学校委員会」として市長さんに地球温暖化防止に向けて、身近な学校からまず始めるための緑のカーテンや屋上庭園をつくることを提案しました。

今、思えば緊張しましたが大変すばらしい経験をさせていただいたと思います。

私たち子ども議員ひとりひとりの提案が、八王子の未来のまちづくりに少しでも役に立てば嬉しいです。

私もここで学んだことを活かしながら、明るく元気な「八王子っ子」としてがんばっていききたいと思います。

坂本鞠子さん 小6「子ども議員として」

私ははじめて子ども議員に応募しました。応募した理由はおもしろそうだったからだけでした。本当におもしろかったけど、大人の人が出て、八王子の市長さんがいて、周りにニュースとかにでてる人がいてすごくびっくりしました。子ども議員としての活動はおもしろかったり大変だったりって感じでした。

議会で発言して、意見をみんなに言った時はドキドキしたけど、言えてよかったと思いました。

私はこれからどんどん大人になるけれど、自分が住んでいる町について大人になっても調べてみたいです。

与那覇裕さん 中2「子ども議員をやって」

今回子ども議員をやって、今まで知らなかったことや、あまり興味を持たなかった事についていろいろ勉強できました。

僕は環境や資源を大切にするために、エコバッグの使用がとても重要な役割を果たすという事を調べました。これからの生活の中で、今回調べて新しく得た知識を役立てるように努力していきたいと思います。

始めのうちは自分に子ども議員が務まるか心配でしたが、みんなと協力し合い、また、大学生や市役所の方々の助けもあって、無事に役目を果たすことができました。

もうひとつ子ども議員をやってよかったことは、今まで知らなかった他校の人たちと友達になれたことです。



学生サポーターを代表して5名の感想文を紹介します。

吉川貴洋さん 大学4年「子どもたちをサポートすること」

今まで教育について学んできたわけでもなく、特に子どもと触れ合う機会もなかった私は、活動当初、どのように子どもと接すればいいのか、正直戸惑いました。それと同時に、サポートすることの難しさにも直面しました。

私たちおとなは「子どもだから」という理由だけで、ついつい子どもたちの作業に手を貸しますが、これはサポートではありません。確かにその手助けのおかげで物事は達成できるかもしれませんが、その結果はほんとうに子どもたちが望んだものでしょうか。

今回の活動を通じて、子どもたちのもつ考えの深さに何度も驚かされました。彼らは私たちおとなが思っている以上に物事を考え、表現することができます。周囲のおとなの役割は、それをできるだけ「ありのままの姿」で表現させてあげることです。それこそが本当のサポートであり、これからの時代、おとなたちにより必要とされることなのではないでしょうか。

中川寿恵さん 大学4年「私が東京にきた意味」

あつという間の1年だった。初めはなんとなく始めた学生サポーター。今となっては私の居場所になっている。

約1年前から子ども議会の準備を始め、今年の夏の合宿。私は子どもたちを引っ張っていけるのか不安だった。この合宿は私にとって一生忘れることのできない思い出となった。まさか1日目の夜の反省会で泣いてしまうなんて。ほかの班がワークショップを終え、意見もまとまり始めているのに、私の班は意見も出ず、まとまる気配すらなかった。自分の力の無さに呆れた。夜の反省会で、仲間達に相談した。みんな自分の班のこのように親身になってくれ、夜中の3時まで付き合ってくれた。次の日の班活動の時も気にかけてくれた。

学生サポーターで知り合えた仲間はみんな尊敬できるかけがえのない仲間だと思う。この経験は私が東京に出てきた意味にもなった大きな活動となった。

瀧澤繭子さん 大学3年「学生サポーターとして」

私は学生サポーターとして約1年と数か月活動をさせていただきました。学生サポーターの活動を通して感じたことは、子どもたちの力は本当に凄いということです。子どもは少なくとも私の考えた以上にいろいろなことを考え、自分の意見を言語化することができることに驚きました。自分が考えつかないようなことを子どもが意見として出していて、何度も感動させられました。私たちが子どもの発言や行動にあわせてちょっとした言葉掛けをするだけで、話がどんどん盛り上がっていきました。また、学生サポーターとして私が気をつけていたことは、子ども達一人ひとりの意見をしっかりと受け、どんな意見であっても自分の価値観で否定しないということでした。学生サポーターを行ってみて、子どもとかかわる楽しさや難しさがよくわかりました。本当にやってよかったと思います。

合場依子さん 大学4年「子ども議会に参加して」

学生サポーターとして子ども議会に参加するなかで、子どもたちと一緒に多くのことを学び、成長することができたと思います。

最初は普段かかわることのない小中学生とどう接していいのか不安でしたが、実際に活動するうちに、自然に接することが



できるようになりました。また、子どもたちと話し合う中で、子どもたちは住んでいる八王子が大好きで、よりよくしたいという気持ちがとても強いことがわかり驚きました。おとなには思いつかないようなアイデアや見過ごしてしまいそうなことも子どもたちは次々と発言します。子ども議会ではその子どもたちが一生懸命に考え、話し合った願いや熱意が十分に伝わったのではないかと考えています。

子ども議会では、八王子のまちづくりについて提案することを目的としていますが、子どもにとってはもう一つ、ほかの学校の子どもとも交流するよい機会だったのではないかと私は考えています。特に、議会に向けて行った合宿では、寝食をともにしてより仲良くなっていました。合宿で行った話し合いは1日目より2日目の方が活発に意見交換が行われていたので、合宿を通じてよりよい関係を築いたのだと実感しました。私自身もほかの大学のサポーターと話し合いを重ね、とても刺激になった合宿でした。

子ども議会を通して、子どもだけでなく、私たち学生サポーターもとても貴重な体験をしました。今後も子ども議会を続けてほしいと思います。

菅原亜論さん 大学3年「伴走者の役割」

私は学生サポーターになるまで、子どもたちとかかわる機会はほとんどありませんでした。そのためコミュニケーションの取り方がわからず、はじめは戸惑いの連続でした。しかし、子どもたちのほうから積極的に話し掛けてくれて、すぐに打ち解けることができました。

夏休みの恩方での合宿、私が担当した委員会の子供たちは、子どもの悩みや問題について、長時間に渡り真剣に意見を交わしていました。その後、各委員会での子どもたちの声をどう届ければいいのか、市職員の方々や学生サポーターの仲間と朝方まで議論をしました。結果、提言書で子どもたちの言葉を届けることができ、子どもたちの「伴走者」としての役割を果たすことができました。

私にとって子どもたちは、ともに学ぶ仲間であり、良きライバルでした。ほんとうに感謝しています。

